

持続可能な地域社会へ

「世界的なSDGs観光と森林経営」

高山市国際観光SDGs都市を目指して

株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役
東洋大学客員教授
関 幸子

関 幸子（株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役）

seki@local-first.jp

1980年三鷹市に入庁

図書館行政10年（図書館司書）ビジネス支援図書館サービス開始

企画調整室で三鷹市基本計画策定 経済課で三鷹市産業振興計画策定

都市型工場アパートの整備

1999年 株式会社まちづくり三鷹（中心市街地活性化法に基づくTMO）設立

三鷹産業プラザ・SOHOインキュベーション施設4棟整備

三鷹モール（電子商店街）開設

民間企業と脳外科用顕微鏡などの開発

三鷹の森ジブリ美術館

2007年 財団法人まちみらい千代田に転職

秋葉原タウンマネジメント株式会社設立し専務取締役就任

2009年 内閣府企業再生支援機構担当室で政策企画調査官（非常勤）

2009年 株式会社ローカルファースト研究所設立 代表取締役就任

2011年 一般社団法人震災復興ワークス設立 東北の震災復興に取り組む

2015年 東洋大学PPP研究センター 客員教授

現在 内閣府自治体SDGs推進評価・調査検討会委員

経済産業省産業構造審議会地域産業分科会委員

郵政民営化委員

本日 お話すること

1 地方創生とSDGs

2 世界のSDGsの動き

3 SDGsを原動力とした
「国際観光都市 飛騨高山」の創造
森林経営の可能性

地方創生とSDGs

SDGsとは

SDGsとは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称

世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくるために世界各国が合意した17の目標と169のターゲットです。

2015年9月、SDGsの前身であるMDGs (ミレニアム開発目標) を継承し、国連で採択されました。貧困問題をはじめ、気候変動や生物多様性、エネルギーなど、持続可能な社会をつくるために世界が一致して取り組むべきビジョンや課題が網羅されています。

2030年を期限とする包括的な
17の目標と169のターゲットを設定し、
「誰一人取り残さない」社会の実現を目指して、
経済・社会・環境をめぐる広範囲な課題
を統合的に取り組む

持続可能な開発目標(SDGs)の詳細



ロゴ：国連広報センター作成

日本自身の課題に関係が深い目標の例 ⇒ 実施には、多くの国内省庁が関係。

- 成長・雇用
- クリーンエネルギー
- イノベーション
- 循環型社会 (3R: Reduce Reuse Recycle 等)
- 温暖化対策
- 生物多様性の保全
- 女性の活躍
- 児童虐待の撲滅
- 国際協力 等

2-3. 第2期「総合戦略」改訂の概要③【令和2年12月21日閣議決定】

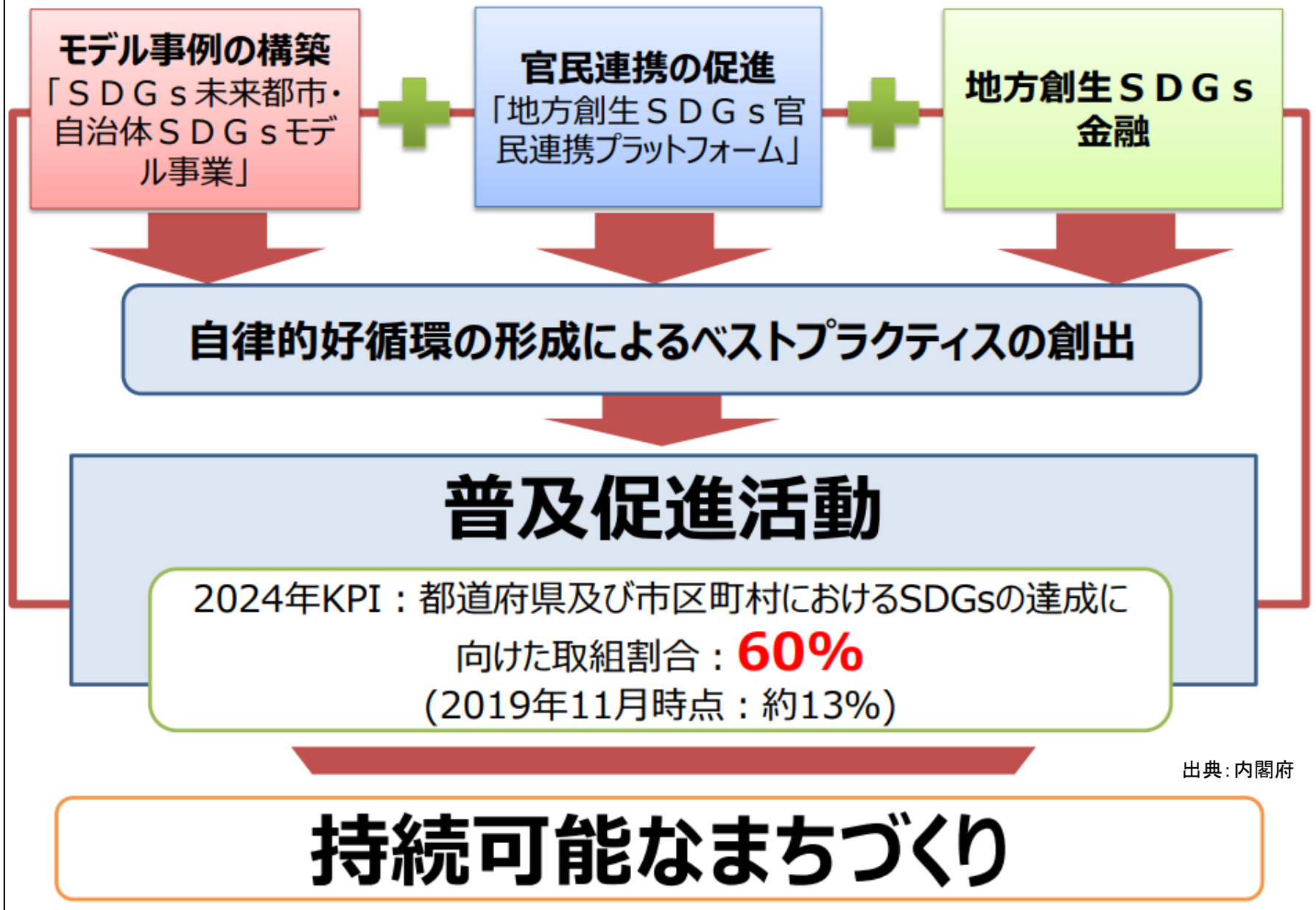
【新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた地方創生の今後の方向性】

- ①感染症による意識・行動変容を踏まえた地方へのひと・しごとの流れの創出
- ②各地域の特色を踏まえた自主的・主体的な取組の促進

<国の姿勢>

各地域の自主的・主体的な取組を基本としつつ、地域のみでは対応しきれない面を支援。





地方創生 × SDGs × DX

= 持続可能なまちづくり

地方創生

【ひと】

少子化高齢化に歯止めをかける
若い世代の結婚、出産、子育て環境

【しごと】

雇用、地域資源による仕事創出

【まち】安心、安全、魅力的なまちづくり

SDGs

環境・社会・経済の統合化と好循環委による持続可能な地域を目指す

SDGs未来都市による普及啓発

意識動機付け

民間企業の価値創出を通して持続可能な開発を実現する

土台 手法 デジタル化・IOT・AI

1 貧困を
なくそう

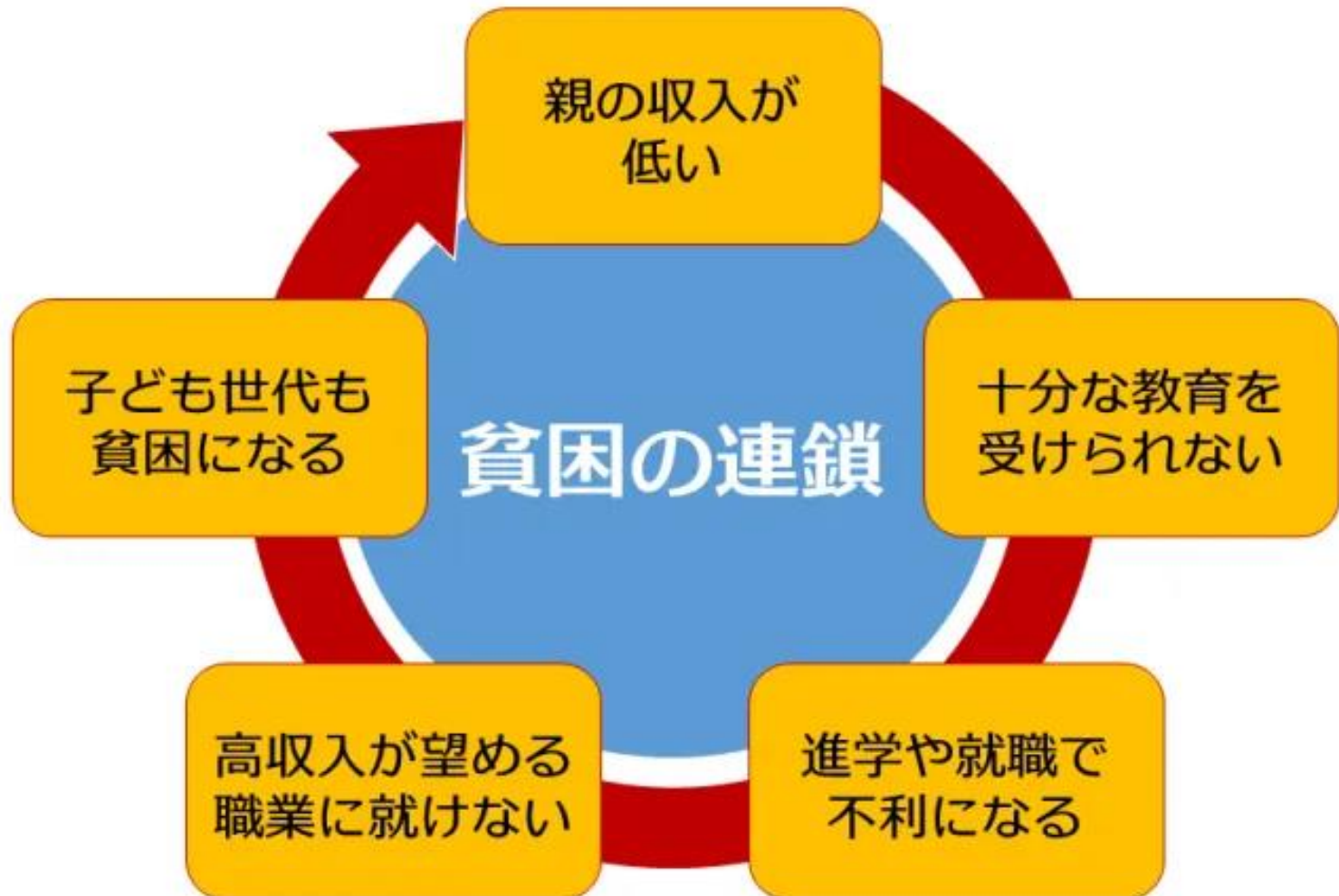


目標1

**あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を
終わらせる**

- 1.1 2030年までに、現在1日 1.25ドル未満で生活する人々と定義されている極度の貧困をあらゆる場所で終わらせる。

貧困の連鎖



貧困・教育・就労・所得は連動

当然、結婚・生数にも連動

貧困(目標1): 所得確保で生活の安定
飢餓(目標2): 栄養ある食事

働き・貧困の連鎖
を打ち切る

所得による教育への
アクセス格差の解消

循環・一貫した
支援システム
社会制度が必要

働きがい(目標8)
完全かつ生産的な雇用
働きがいのある人間らしい仕事、
同一労働同一賃金達成

生活の自立
安定した雇用
へ

公平で質の高い教育(目標4)
・男女の区別なく、手の届く質の高い技術教育・職業
教育及び大学を含む高等教育への平等なアクセスを
得られるようにする
健康的な生活と福祉推進(目標3)

SDGs1 貧困をなくそう 親の貧困・子供の貧困解決 どこから始める？

施策	1-5歳	小学校	中学校	高校	専門学 校・大学	保護者
福祉：医療	保育園 ナニ一制度 病後児保育					手当 生活保護
教育		・給食無償 化 ①学習塾支 援	給食無償化 学習塾支援	②奨学金 (貸与・給付 型) 学習塾 お小遣い	奨学金(貸 与・給付型) 学習塾 お小遣い	学び直し支 援
産業				就職支援 免許取得支 援	就職支援 免許取得支 援	就職支援 スキルアッ プ研修支援
居場所		児童館 図書館				
移動・交通			鉄道・バス			
相談窓口	総合化・DB 化					

施策の統合化・一体化

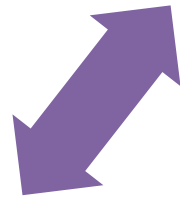
① 富山市ひとり親家庭学習支援事業「あっさり未来教室」少人数型で、学習習慣や基礎学力の定着、高校進学のための学習指導

② 富山市奨学資金(給付)奨学制度:学校教育法に基づく高等学校に在学し、学資の支弁が困難な人を対象に、授業料負担の軽減を図るため、奨学資金を給与し、優秀な人材を育成する。(民間からの寄付)

SDGsを進めるには経済・社会・環境の好循環を作りだせ

経済

- ・開発・仕事創出＝生活基盤
- ・新技術・新商品



環境

- ・土地・森・海・陸
- ・資源・エネルギー・ゴミ



社会

- ・政治・社会制度
- ・教育・福祉・医療・保健
- ・ジェンダー・平和・PPP

済と消費はセット：市民の行動改革へ

意識改革

企業が環境問題や社会問題に取り組んでいるか、ガバナンス(企業統治)に力を入れているかどうかなどを考慮して投資するかどうか決める考え方。

SDGS
金融

気づき

買い物

行動改革



エシカル消費

ESG投資

企業が環境問題や社会問題に取り組んでいるか、ガバナンス(企業統治)に力を入れているかどうかなどを考慮して投資するかどうか決める考え方。

「エシカル」(ethical)とは、「倫理的な」という意味を持つ形容詞。エシカル消費とは、『人と社会、地球環境、地域のことを考慮して作られたモノ』を購入もしくは消費すること。

SDGs 認知から実装へ

コロナで実行速度が加速化

気づき

意識改革

本気:実行:実装

SDGs 合意

- 2015年国連決議:認知
- 2030年までの目標ゴール設定
- 普及啓発

コロナ発生

- 持続可能な社会実現へ
- 生活・産業・価値観が変化

全世界での実行
へ

- デジタル化
- 環境対策強化
- 生活様式変容
- 産業構造変化
- 都市から地方へ分散

新しい産業の捉え方

従来型産業概念

農業、漁業

製造業

卸売業、小売業

サービス業

今後のアプローチ

SDGs

エネルギー、人口減少、
空き家・迷子の土地、福祉、
介護、防災

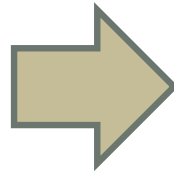
PFI/PPP 公式化
空間・施設の管理と長
寿命化

社会課題
を解決す
る産業

官・民連携
による産業

先回りした
産業

ソサイエティ5.0
フィンテック（金融）
ブロックチェーン（情報・IT・AI）
キャッシュレス



SDGsの本質

• 魚を与えず 竿を与えよ:釣りを教えよ

老子の格言『授人以魚 不如授人以漁』
「魚を与えれば一日で食べてしまいが、
釣りを教えれば一生食べていける」



SDGsは、対処療法ではなく根本的な治療... 実行する

- 1 総合的戦略 トータルに設計し政策化、横断的政策
- 2 目標値の明確化 年次と目標数字
- 3 主役は市民と民間企業

世界のSDGsの動き

アメリカポートランドが取り組むSDGs

ショッピングセンターでの魚の販売



	おすすめの魚です
	絶滅しそうな魚です
	絶滅危惧種の魚です。 販売はしませんが知ってください



同じりんごでも値段が違う なぜ？

10円は地元の
学校に寄付
: 少額寄付

1個 100円



1個 100円+10円=110円



フランスの卵には番号が付いている

安いことが価値ではない、安全であるかどうか

鶏にストレスを与えないように卵を生産するという
大きなSDGsの思想 ヨーロッパではこれが当たり前

■ 0 BIO(ビオ)

- 鶏の餌が100%オーガニック
- いいものを食べて
- 太陽の光に当たり
- (限られた範囲だけど)動き回っている。



1 PLEIN AIR(屋外)

鶏を昼間は外で放し飼いにしています。

太陽の光にあたり

(限られた範囲だけど)動き回っている。

BIOとの大きな違いは、餌がオーガニックでないこと。



2 AU SOL (地上)

鶏を鶏舎のなかで平飼い。外には出しません。

太陽の光を全く浴びていない。

かなり狭い場所だけれど、最低限の動きは取れる。

餌についてはPLEIN AIR(屋外)と一緒に。



3 EN CAGE (ケージの中)

鶏をケージの中で飼育。外には出しません。

太陽の光を全く浴びていない。

ケージの中でぎゅうぎゅうづめ、ほとんど動けない状態。

餌についてはPLEIN AIR(屋外)やAUSOL(地上)と一緒に。



フランス 世界遺産モンサンミシェル



道路でつなげたために砂が滞留して、島が埋まってきた



橋げたに代えて、海流が流れるようにした
川の位置も変更

MARCEL MOCHET via Getty Images



出典：フランス政府観光パンフレット

モンサンミッシェル



道路を廃道して
木道にして、
電気バス定期運営



フランスエコフレンドリー

1 フードロスの問題。

2016年、スーパーマーケットにが売れ残り食品の廃棄を世界で初めて禁止。
賞味期限切食品は、慈善団体やフードバンク、家畜の飼料として寄付しなければならないと法律で定めた。

大規模店は、チャリティ団体と契約を結ぶ必要あり

最大で約8万4000ドル(970万円)罰金又は最大2年の禁固刑

2 使い捨てプラスチック商品の廃止

2016年より堆肥にできないプラスチック製のレジ袋の使用が禁止に、2020年に制定された循環経済法でプラスチック製の食器などの販売・使用が禁止

12 つくる責任
つかう責任



3 電気自動車 & ハイブリット車が主流

パリオリンピックが開催される2024年までに、ディーゼル車の使用を段階的に禁止、2040年までにはディーゼル車・ガソリン車の販売を禁止

4 世界初の路上ソーラーシステム



5 衣料品の再利用の義務化

2020年：衣料品店の在庫や売れ残った商品を価格や原産地に関わらず、廃棄や焼却することを禁止する法律を施行。

ベルギー

・エコ券の支給。

企業が従業員に対して非課税のエコ券を支給し、従業員はそれを使ってエネルギーや水の節減、環境にやさしい移動手段の普及につながるエコ製品・サービスなどを購入

13 気候変動に
具体的な対策を



フランス：省エネ暖房器具の購入無利子融資

政府は、高効率の省エネ暖房関連器具の購入に対し、税額控除や購入費用を無利子で貸し出すエコローン制度

スペイン：エネルギー高効率の白物家電購入に補助金

2006年から、エネルギー効率の高い白物家電の購入に補助金を支給している。冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、食器洗浄器、電気オーブンが対象だ。また、白熱電球からの切り替えを進めるため、省エネ電球を無料給付

イタリア：省エネ化住宅工事と省エネ家電の購入に減税

エネルギー効率化工事などへのインセンティブ

(単位：%、ユーロ)

対象となる工事・購入製品の種類	控除率	控除限度額
省エネボイラー暖房設備への交換	55	30,000
省エネ窓枠への交換		60,000
温水用ソーラーパネルの設置		60,000
既存建築物のエネルギー効率向上工事		100,000
工業用高効率モーターの購入	20	1,500
インバーターの購入		1,500
冷蔵庫の買い換え		200

(出所)09年度予算法

総合インフラ企業としてのシュタットベルケ ～オスナブルック市(20万都市)を例にして～

- ホールディング会社の下に、各事業会社が存在。
- 事業会社間の損益は相殺することが会計上可能。
- 赤字のバス事業を黒字のエネルギー事業で賄う。
- バス事業の存続のために市民はシュタットベルケと電力契約。8割の契約率。
- 地域の雇用にも貢献(900人の職員)。



SDGsを原動力とした 「国際観光都市 飛騨高山」の創造

森林経営の可能性

自治体SDGsモデル事業の概要

経済



- 観光まちづくりの推進
 - ・奥飛騨温泉郷エリアの活性化
 - ・民俗文化に親しむ観光拠点の整備
- 飛騨高山ブランドの強化
 - ・メイド・バイ飛騨高山認証制度
 - ・プロモーション推進体制の構築
- 地域循環型経済の構築
 - ・地域経済構造分析の活用
 - ・地産地消の推進

環境



- 脱炭素社会の早期実現
 - ・地域に根差した自然エネルギー活用
 - ・環境基準が国内トップレベルのごみ焼却処理施設整備
- 100年先の森林づくり
 - ・森林の多面的利用の推進（防災強化など）
 - ・カーボンオフセットによる森林整備
- 山岳資源を活かした地域活性化
 - ・中部山岳国立公園の利用促進
 - ・自然との共生モデル（五色ヶ原の森）の構築

社会



- 歴史・伝統の保存、継承
 - ・歴史的な町並みの保存
 - ・飛騨匠の技術・精神の継承
- 夢と誇りが持てる社会の構築
 - ・若者の交流の場の創出
 - ・子どもの夢や創造力を伸ばす学習機会の提供
- ともに支えあうしくみの構築
 - ・協働のまちづくりの推進
 - ・飛騨高山ファンとの連携強化

三側面をつなぐ**統合的取組**

人・自然・文化がおりなす 飛騨高山SDGsパートナーシップの推進

③ SDGsの積極的展開

SDGsを活かした飛騨高山の魅力や価値、存在感を発信していくため、市民レベルのSDGsに対する理解促進やSDGsを通じた多様なステークホルダーとのつながりの強化など、SDGsの積極的な展開を図る。

飛騨高山SDGsパートナーシップセンターの設置



市民による情報発信
「私なりのSDGs宣言制度」の創設

- ・協働・連携による地域課題の解決、新たな発想の創出
- ・SDGsをツールとした国内外への情報発信
- ・国際観光都市としての認知度や情報接触度の向上

- ・市民や団体、事業者などが行うSDGsを意識した活動などを宣言する制度の創設
- ・市民のSDGsに対する理解の深化、SDGsの“自分ごと化”(身近な行動から始められることの認識)

経済、社会、環境の各側面の相乗効果

経済

- ・観光まちづくりの推進
- ・飛騨高山ブランドの強化
- ・地域循環型経済の構築

産業の活性化による担い手・関係人口の増加

歴史・文化資源を活かした産業の活性化

社会

- ・歴史・伝統の保存、継承
- ・夢と誇りが持てる社会の構築
- ・ともに支えあうしくみづくりの構築

三側面をつなぐ統合的取組

- ①飛騨高山プロモーションの展開
- ②交流拠点エリアの形成

国内外の多様なステークホルダーの関わりを深める

- ③SDGsの積極的展開
(私なりのSDGs宣言等)

市民一人ひとりのSDGsの意識を醸成する

三側面のつながりを深め、相乗効果を高める

環境

- ・脱炭素社会の早期実現
- ・100年先の森林づくり
- ・山岳資源を活かした地域活性化

環境保全を意識した
経済活動による
環境負荷の軽減

担い手育成・
関係人口づくりによる
環境保全活動の活発化

自然・環境資源を活かした
産業の活性化

環境保全意識の高揚
による誇りと愛着の醸成

自律的好循環の具体化に向けた事業の実施



持続可能な自走できるまちへ

国際観光都市高山市の挑戦

1 フードロスへの挑戦

- ・ 旅館・ホテル・飲食店が協力して、提供する食材の見直し
 - ⇒ 高齢者の増加による量から質へ アレルギー対策
 - ⇒ 残菜の肥料化
- ・ コンビニ、スーパー 賞味期限が近い商品の割引・ポイント付与による消費促進

2 プラスチック商品をできるだけ使わない

- ⇒ 旅館・ホテルのアメニティ 個ボトルから詰め替え型へ
- 星野リゾートがエコ対策、ごみ対策で実施
- ⇒ 歯ブラシの提供は必要か(持参させるか)

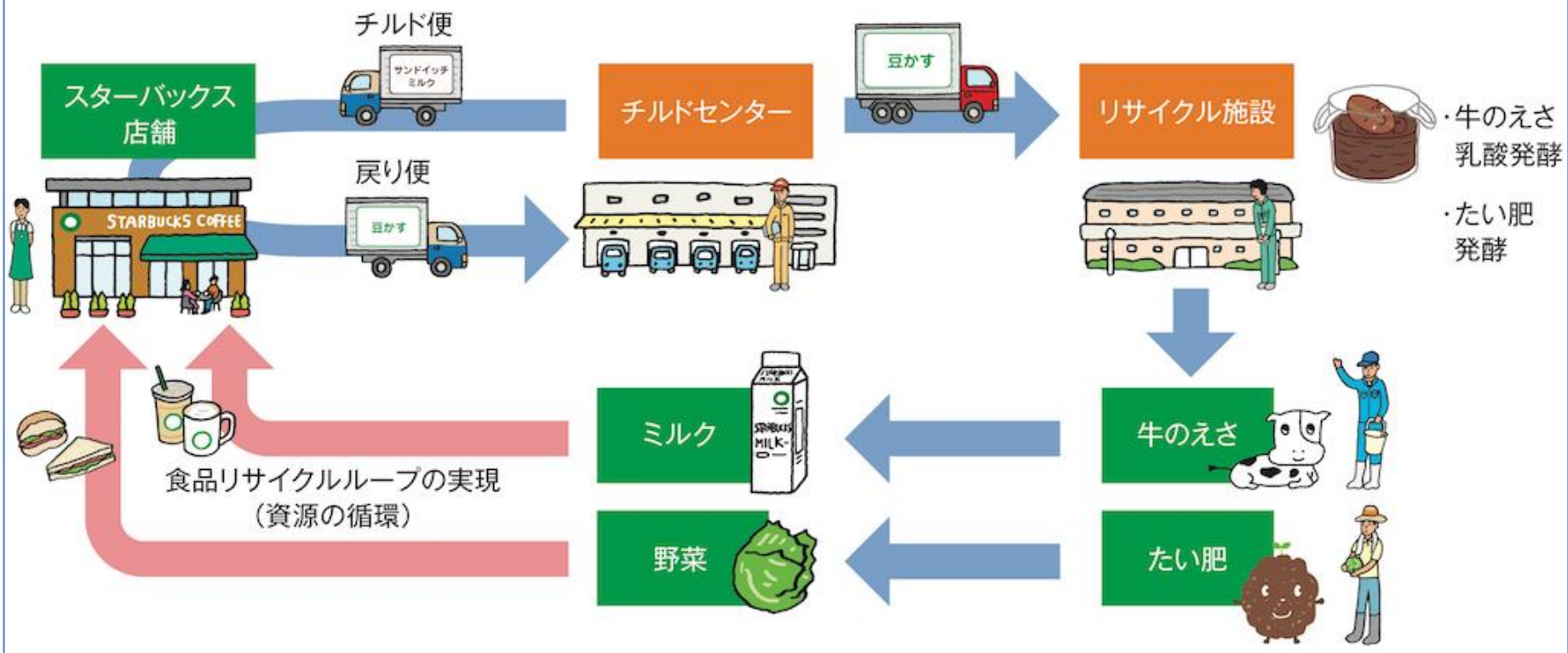


3 お土産の過剰包装をしない

- ⇒ ビニール系から紙へ

スターバックスコーヒー 廃棄:豆かす利用のリサイクルプロジェクト

コーヒー豆かすリサイクルの流れ



出典: スターバックスコーヒーHP

(株)メニコンとの連携

コンタクト洗浄液に使う酵素の研究 → コーヒー豆を乳酸菌で発酵

→ 日持ち、甘酸っぱい香りにする技術を提案 これは乾草にも使われている技術

脱炭素・CO2の削減

1 地域タクシー・自家用車のEV化

⇒ 政府が買換えに80万円の補助金

東京都では+45万円

⇒ 環境にやさしい、静か

2 ゴミの削減

⇒ 生ゴミ収集って必要 ?

⇒ ゴミの分別によって、ごみから資源へ

⇒ リサイクルからサーキュラーエコノミーへ

リサイクル→サーキュラーエコノミーへ

ゴミは燃やすのがあたり前なのか？

焼却場で焼かれたゴミは1/20の焼却灰となり、最終処分場(埋め立て場)
焼却場のCO2排出が地球温暖化へとつながる

- 1 有機物(食品残) → バイオマス等で肥料へ
- 2 紙、衣類、ビン、缶 → リサイクルへ 元の素材に戻すか新たな素材に転換
- 3 家具、電化製品 → 修理、再利用へ販売

世界のゴミ焼却場比較

日本	1,893
アメリカ	168
フランス	100
イタリア	51
ドイツ	51
スイス	29
スウェーデン	21
オランダ	9

(2008年 OECD統計 単位:ヶ所)

上勝町が行ったのは住民の意識改革
住民の行動変革(分別、リサイクル品を買う)

上勝町ゼロウェストセンター

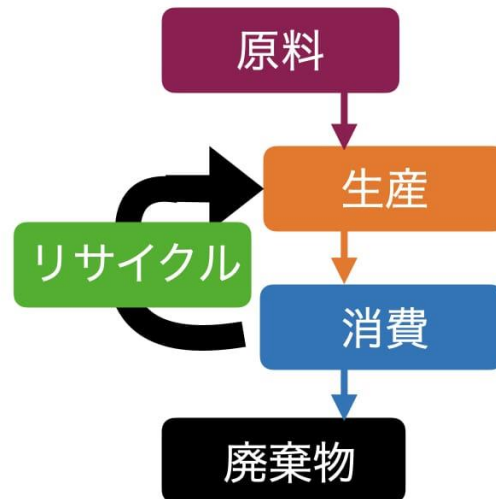


リニアエコノミーからサーキュラーエコノミーへ

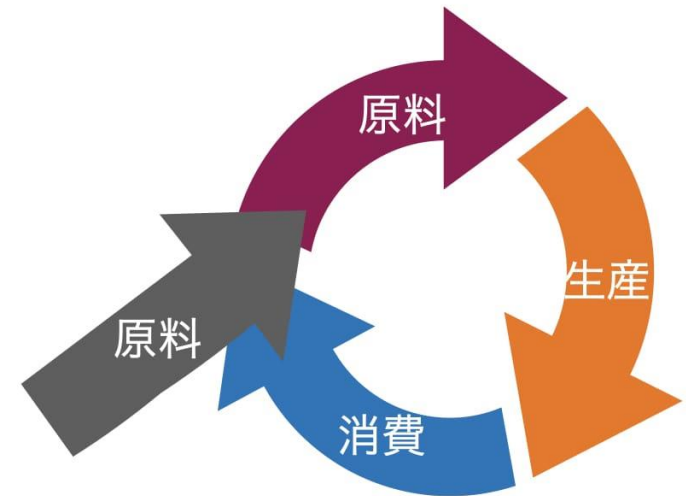
リニア・エコノミー



リサイクリング・エコノミー



サーキュラー・エコノミー



出典: エレンマッカーサー財団

エレンマッカーサー財団サーキュラー・エコノミーの3原則

1. DESIGN OUT WASTE AND POLLUTION : 廃棄物や汚染を生み出さない設計(デザイン)を行う
2. KEEP PRODUCTS AND MATERIALS IN USE : 製品や原材料を使い続ける
3. REGENERATE NATURAL SYSTEMS : 自然のシステムを再生する

・ゴミや廃棄物を出さないことで、海がきれい、山(土壌)がきれい
→ 漁業、農業環境が良くなる。



【令和4年度要求額 20,000百万円（新規）】

意欲的な脱炭素の取組を行う地方公共団体等に対して、「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」により支援します。

1. 事業目的

我が国では、2050年カーボンニュートラルの実現とともに、2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減する目標の実現に向けて、再生可能エネルギーの主力電源化が求められている。本事業は、「地域脱炭素ロードマップ」（令和3年6月9日第3回国・地方脱炭素実現会議決定）に基づき、脱炭素事業に意欲的に取り組む地方自治体等を複数年度にわたり継続的かつ包括的に支援するスキームとして交付金を設け、改正地球温暖化対策推進法と一体となって、集中的・重点的に支援するため、少なくとも100か所の「脱炭素先行地域」で、2025年度までに、脱炭素に向かう地域特性等に応じた先行的な取組実施の道筋をつけ、2030年度までに実行し、合わせて、脱炭素の基盤となる重点対策を全国で実施し、各地の創意工夫を横展開することを目的とする。

2. 事業内容

意欲的な脱炭素の取組を行う地方公共団体等に対し複数年度にわたり継続的かつ包括的に交付金により支援します。

1. 脱炭素先行地域への支援

（交付要件）

脱炭素先行地域内の民生部門の電力消費に伴うCO2排出実質ゼロ達成 等

（事業メニュー）

再エネ等設備の導入に加え、再エネ利用最大化のための基盤インフラ設備（蓄電池、自営線等）や省CO2等設備の導入、これらと一体となってその効果を高めるために実施するソフト事業を対象。

2. 重点対策に取り組む地域への支援

（交付要件）

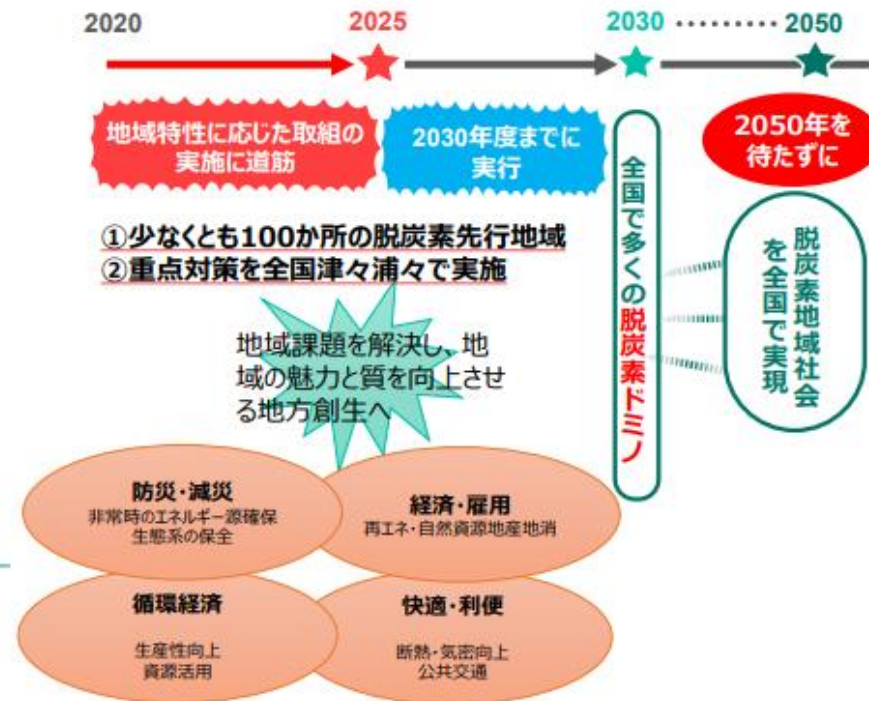
地域脱炭素ロードマップに基づく重点対策を先進的※に実施

※ 先進的の例：国基準や国目標を上回るレベルの対策、複数の重点対策の組み合わせ 等

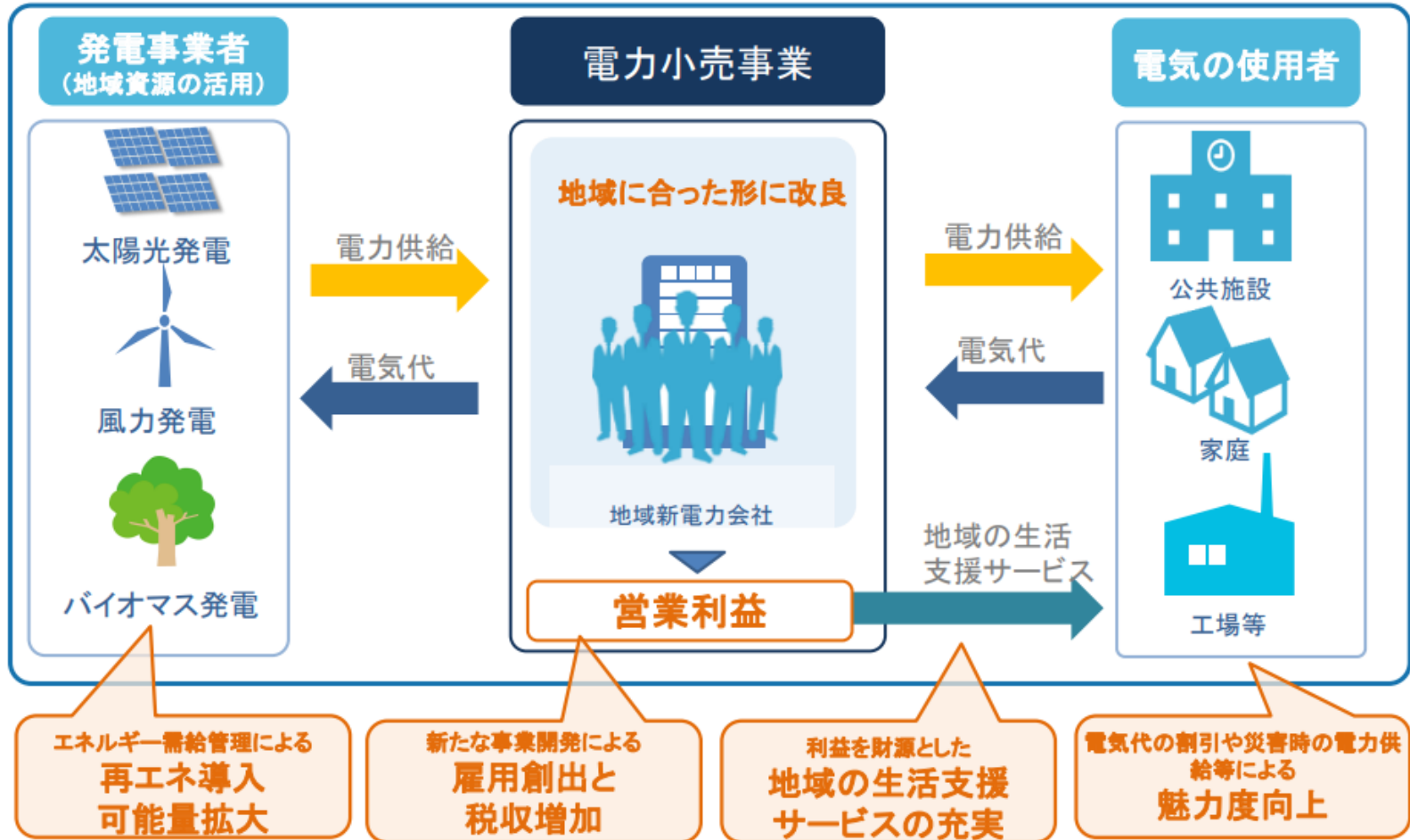
3. 事業スキーム

- 事業形態 交付金（交付率 3/4～1/2 等）
- 交付対象 地方公共団体等
- 実施期間 令和4年度～令和12年度

4. 事業イメージ

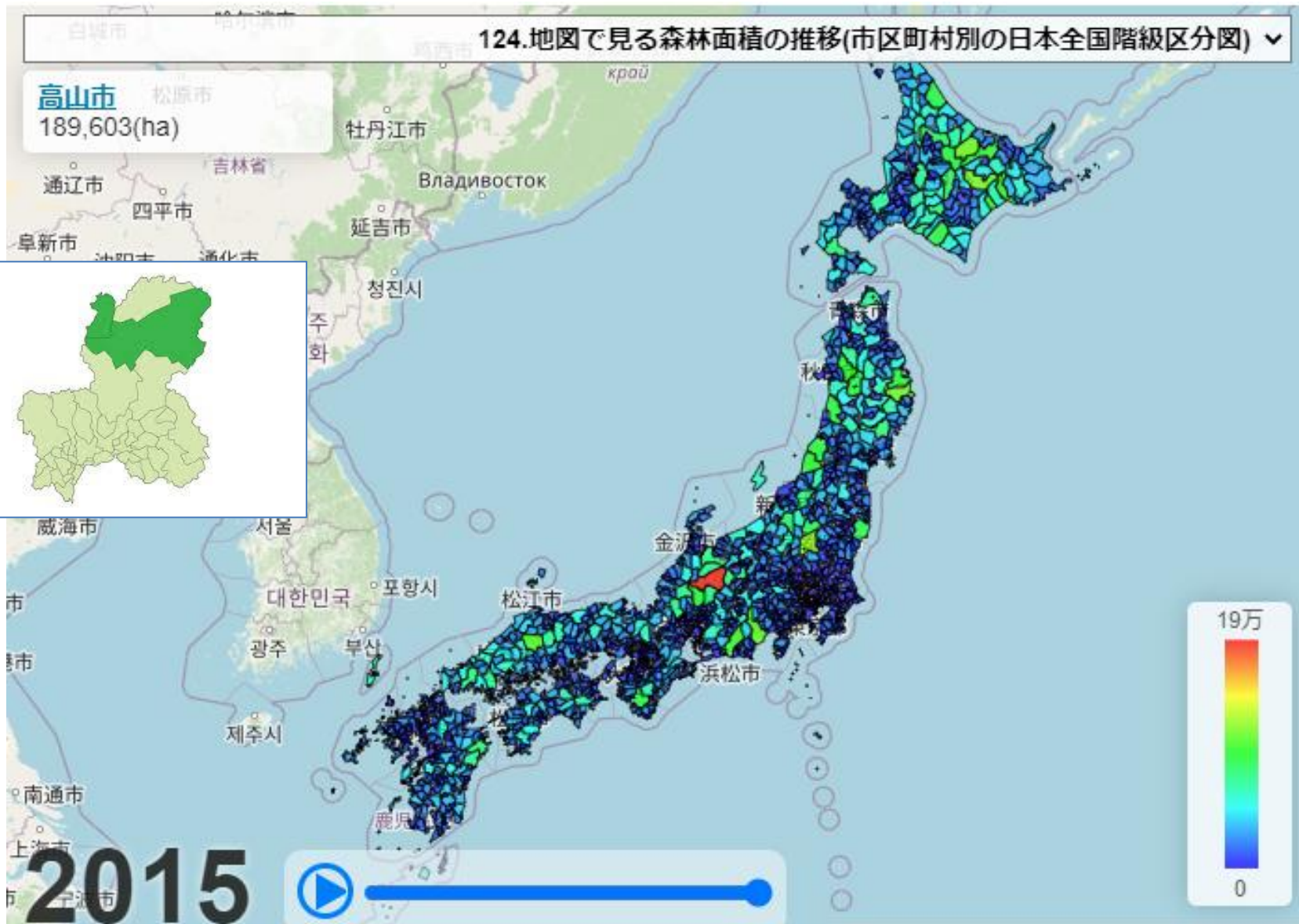


「自治体新電力」



地域のための電力供給事業による様々な地域還元

日本一広い 森林面積 : エネルギー資源として活かす



出典 : GraphToChart.「森林面積の日本全国ランキング(市区町村別)」。最終更新:2021-04-09. <https://graphtochart.com/japan/world-forest-area.php>(参照日時:2022-11-03)

SDGsを原動力とした「国際観光都市 飛騨高山」の創造

- 1 自治体 : 大きなシナリオビジョンを描く
人材育成プログラム・学びの場・啓発・普及
民間企業との連携による大胆な具体的な事業実践
- 2 市民 : 私なりのSDGs宣言でできることをしっかりと行う
エシカル消費、シェアリングエコノミー
- 3 企業 : 本業の中で、脱炭素・フードロス・EV化・フェアトレード
男女の賃金格差是正、女性管理職登用
⇒ 良い人材確保へ
⇒ 単価のUPを狙う
- 4 森林を活かした自治体新電力への挑戦
- 5 広報・PRによるSDGs都市としてのアピール